

2024年3月発行 VOL.122

なぴあ

公益財団法人長崎県国際交流協会 広報誌



チェ
崔ダウンCIRにインタビュー！

長崎県国際課の崔ダウン CIR が 5 年間の任期を終えて、2024 年 3 月で退任します。当協会の青少年国際理解講座や語学講座（CIR と話そう!）、ながさき国際協力・交流フェスティバルでも、韓国の文化をたくさんの長崎県民の皆様に伝えていただきました。今回は、そんな崔ダウン CIR にインタビューをしました。

Q1. 国際交流員（CIR）として色々なお仕事をされた中で、一番思い出に残っていることはなんですか？

「ながさき国際協力・交流フェスティバル」では、普段出会うことのない県民の方々とたくさん触れ合うことができました。ほんのわずかな時間でしたが、一人一人とお話し、韓国の文化について知っていただけたことはとても嬉しく、楽しい時間でした！

Q2. 国際交流員（CIR）として長崎県民の方と関わる中で、学んだことはありますか？

様々な講座をする中で、参加者からの反応があまりなく、悩んだこともありましたが、しかし、日本の方は大人しい性格で、また周囲への配慮から、あまり自分の意見を表に出さない国民性があると理解してからは、皆さんの反応を気にし過ぎずに、自分のペースで接することができるようになりました。

また、「CIR と話そう！」では、県民の皆さんに韓国語と日本語を使って韓国の文化などについてお話しますが、逆に県民の皆さんから日本文化や長崎についてたくさん教えていただくことがあり、とても勉強になっています！

Q3. チェ崔さんにとって「国際交流」「異文化交流」って何ですか？

国際交流・異文化交流は、「調和していくこと」だと思います。みんなそれぞれの立場や考え方がありますが、実際に触れ合う中で、お互いの考えを理解し、印象が変わることすらあると思います。私はそれが一番大切なことだと思います。お互いについて理解し、もっと知りたい!と思うことは、大げさかも知れませんが、世界平和にも繋がることだと思います。国際交流は、自分と相手が調和していくことでもあり、世界を調和させること（一つにまとめていくこと）でもあると思います。

長崎県の皆さん、韓国に行かなくても、長崎県内で韓国に触れられるイベントなどに参加して、これからも韓国に興味を持ち続けてくださると嬉しいです！5年間、ありがとうございました！

(公財) 長崎県国際交流協会

〒850-8062 長崎県長崎市出島町 2 番 11 号

TEL 095-823-3931/095-823-3929

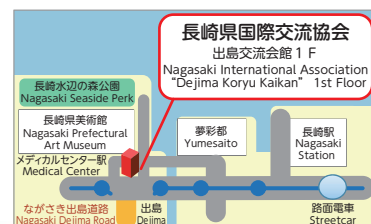
FAX 095-822-1551/E メール nia@nia.or.jp



協会公式 HP



Facebook



令和5年度通訳ボランティアステップアップセミナー・災害時多言語ボランティア養成講座を実施しました！

2024年2月17日（土）、長崎歴史文化博物館にて、令和5年度通訳ボランティアステップアップセミナーを開催しました。

第一部では、「外国人旅行者に長崎の歴史を説明するための基礎知識」と題して、長崎県長崎学アドバイザーの本馬貞夫さんに講義をしていただきました。長崎は歴史的な「唯一」「一番」が多く残っている街であることや、長崎開港やキリスト教の伝道、出島オランダ商館などについて、各国と長崎との関わりを交えながら分かりやすくご説明いただきました。

第二部では、長崎歴史文化博物館職員のヴァレンティーナ・オディーノさんにご協力いただき、長崎歴史文化博物館職員が、英語で常設展を案内する「外国人のためのギャラリートーク」を実演していただきました。参加者は、オディーノさんの英語での解説を熱心に聴いていました。

参加者からは、「本馬先生の講義では、歴史的背景をユーモアを交えて解説いただき、とても有意義な時間でした」「オディーノさんのガイドは、親しみやすい雰囲気でありながら、要点を押さえた情報を説明されており、とても勉強になりました」とのお声をいただきました。

2024年2月19日（月）、昨年度に引き続き、（一財）熊本市国際交流振興事業団 事務局長 勝谷知美さんを講師にお迎えし、令和5年度災害時多言語ボランティア養成講座を開催しました。

「災害現場におけるやさしい日本語と外国人支援について」と題し、講座の前半では、熊本地震での外国人支援活動から見てきた“災害時に外国人が直面する様々な課題”についてお話いただきました。外国人は、言葉の違い、文化・生活様式の違い、地域関係が希薄であることなどにより安全で適切な避難行動がとれない場合があることを、ご説明いただきました。

講座の後半では、“やさしい日本語”とは何か、またやさしい日本語を書く時・話す時に注意すべき点についてお話いただきました。最後に、難しい災害時の日本語をやさしい日本語に変換するワークを行い、講座を終了しました。

参加者からは、「外国人の方の目線に立つと、日本語には敬語や方言もあり、難しいのだと気付かされました」「災害時以外でも、地域で暮らす外国人住民のためにやさしい日本語を活用したいと思います。」とお声をいただきました。



第一部の様子



第二部の様子



やさしい日本語に正解はありません。目の前の外国人が「どのような質問であれば答えられるか？」を考えてあげましょう。



通訳・翻訳ボランティア及び災害時多言語ボランティア募集中！



長崎県国際交流協会では、通訳・翻訳ボランティア及び災害時多言語ボランティアを随時募集しています。活動に興味のある方は、当協会までお問い合わせください！

通訳・翻訳ボランティア

国際観光船をはじめ観光目的で来崎する外国人のための通訳ガイドや、団体等の活動における通訳・翻訳などを行う。

災害時多言語ボランティア

長崎県内で大規模災害が発生した時に、災害情報等の翻訳や外国人相談のための通訳を行う。

各ボランティアの募集要項や申込書は、当協会のHPよりダウンロードできます！



令和5年度国際交流スタート支援事業・草の根国際交流支援事業の報告

長崎県国際交流協会では、県民の皆様の国際交流・多文化共生活動を支援するため、2つの助成金事業を実施しています。令和5年度は、以下の4団体へ助成を行いました！令和6年度の助成金事業のお知らせは6ページに掲載しています。ご興味のある方は、お気軽にご相談ください。

ポレポレキャラバン2023 in 森岳酒蔵 Luna Base

主催：ルナde国際交流



私たちは、島原市の森岳酒蔵 Luna Base を拠点に活動を始めた国際交流団体です。国際交流、多文化共生、言語、海外のお客様対応（やさしい日本語）などをテーマに交流イベントを企画しています。

今回開催したイベントは「ポレポレキャラバンin 森岳酒蔵 Luna Base」と題し、ケニアのマサイ族の長老やケニアにゆかりの深いゲストとともに、世界一周クイズ、ケニアでの生活についてのトーク、アフリカの歌や音楽を体験するライブなどを行いました。参加者と一体になり、大いに盛り上がりました。このイベントをきっかけに、来年も一人でも多くの方が国際交流に参加できるイベントを計画していきます！

しめ縄をつくろう ～日本文化をテーマとした 国際交流ワークショップ～

主催：NPO法人 conpeito



NPO法人 conpeito は、子どもたちに「学ぶことを諦めさせない」ことを目的とした学習特化型プライベートスクールを運営しています。私たちは、SDGsの基本思想である“*No one will be left behind*”を第一目標に、不登校の子どもたちと共に、子供たちが主体性を持って学べる機会を提供しています。

今回のイベントでは、外国人と日本人が交流をしながら、日本文化であるしめ縄について学び、実際にしめ縄飾りを制作しました！国や世代を超えて、新しい人と新しいことを学ぶ楽しさを届けられた国際交流イベントとなりました。今後も定期的に日本文化×国際交流のワークショップを企画していく予定です。

東山手「地球館」 開館26th Anniversary

主催：長崎「国際交流塾」
/ 東山手「地球館」



「国際交流と、地域・観光の拠点」として長崎居留地の洋館（文化財）を活用しながら、日々東山手「地球館」の運営と国際交流・文化交流に励んでいます。この度は、地球館の開館26周年記念イベントで令和5年度草の根助成金を使わせていただきました。

今回は、館長の世代継承後初めての周年事業で、活動展示・ワールドフーズレストラン・外国人とおしゃべりRoom・新旧館長によるトークイベント・民族衣装コーナー・やさしいマルシェなど盛りだくさんの2日間となりました。古くから活動を支えてくださった方々や、初めて地球館を訪れる方、外国人の友人たちみんなで大盛にお祝いすることが出来ました！

2024年在長崎ベトナム 旧正月フェスティバル

主催：在長崎ベトナム人協会



在長崎ベトナム人協会は、2019年に在ベトナム日本国大使館の指導のもとに設立されました。現在、当協会は長崎市・諫早市・佐世保市にそれぞれ支部を設立し、在長崎ベトナム人への日本語学習支援や様々な交流活動をしております。

2023年9月21日、日本とベトナムは外交樹立50周年を迎えました。このイベントは、旧正月に帰国できない在長崎ベトナム人が、新年のお祝いと感謝の気持ちを共有するとともに、長崎の人にベトナムのお正月を体験していただける機会として開催しました。お互いに異文化に触れ、ベトナムと日本、長崎への興味関心をさらに高める一日になりました。

世界でキラリ★JICA 海外協力隊



モゲシン ケ ウルゴム ボッチ
Mogethin! Ke urgom boch?
こんにちは！元気ですか？

根ヶ山 美香 (ねがやま みか) さん

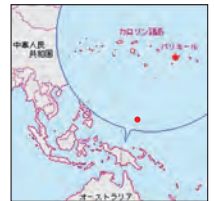
【平成20年度3次隊 ミクロネシア連邦 放送】

世界中で活躍するJICA海外協力隊。2009年1月から2年間、ミクロネシア連邦で放送隊員として活動した根ヶ山さんにお話を聞きました！

「ヤシの木放送局」
はこちらから！



ミクロネシア連邦は、ヤップ、チューク、ポンペイ、コスラエの四つの州から構成される連邦国家です。607の島々と大きな環礁からなる広大な海洋国家で、多種多様な独自の文化や原始の自然が守られています。



私が派遣されたミクロネシア連邦ヤップ州のヤップ島は、巨大な石貨やカヌーの伝統的な航海技術が残るとても美しい島です。私はその島の小さな放送局で、テレビ制作の指導を行いました。日本と違ってのんびりとした時間が流れる放送局で、私は日本のやり方を伝えようと必死でした。内容が伝わる映像は撮れるのか、編集は時間通りに終わるのか、いつも心配ばかりしていました。そんなある日、同僚が私に「シンパシナイデ!」と私が教えた日本語で言葉をかけてくれたのです。この事が、自分を見つめ直す大きなきっかけとなり、現地の考え方に合わせた活動をするようになりました。うまく気持ちが伝わらず悲しくなっても、意見が合わず喧嘩をした時さえ、同僚達は私をさりげなく笑わせてくれました。そんな皆の優しさに支えられ、任期が終わる頃には、自然と私の想いも伝わっていたのです。

ヤップ島ではホームステイも経験しました。ホストファミリーの親戚のロファンは、私が仕事から帰るといつも、大きな声で「ミカサン!」と私を呼び止めてくれました。ココナッツオイルの作り方や、タロイモの炊き方を教えてくれたり、私を家族の輪に入れてくれました。そんな彼女の優しさに救われた事は数え切れません。彼女が先生をしている小学校の子ども達と一緒に、ナマコを題材にヤップ島の綺麗な海を守ろうという啓発番組も作りしました。同僚と作ったナマコの歌を、踊りながら歌う子ども達はとても可愛く、子ども達と一緒に楽しい番組を作る事ができたのも、ロファンのおかげだと思っています。ヤップ島には、大切な人に自分の名前をあげるという風習があります。帰国の時、私は手作りの伝統衣装のラバラバと一緒に、彼女の名前をもらいました。

私は今でも、ヤップ島の皆さんが私にくれた沢山の優しさを思い出します。青年海外協力隊経験者は、私のように、現地で沢山の宝物をもらっていると思います。その経験を、より多くの人に伝えたいと思い、YouTubeチャンネル「ヤシの木放送局」で動画を配信しています。ぜひ、多くの方に見て頂けると嬉しいです。



今でも残る巨大な石貨



同僚たちと一緒に放送局の前で



ロファンと家族が開いてくれた
さよならパーティー

令和5年度日本語ボランティア養成講座を開催しました！

長崎県及び長崎県国際交流協会では、多様なライフスタイルを持つ外国人住民の皆さんが、日本語を学びながら地域住民の方とつながりを持つことができるよう、地域日本語教室の設置に取り組んでいます。地域日本語教室では、地域に住む外国人と日本人とが「やさしい日本語」を使って会話をします。外国人住民の皆さんが会話を通して日本語を学ぶことはもちろん、お互いに知り合い、集まる居場所としての役割も持っています。

昨年度に引き続き、今年度も2023年10月15日（日）から2024年1月27日（土）にかけて、県内4地域（松浦市・西海市・雲仙市・東彼3町（東彼杵町・川棚町・波佐見町の合同開催））にて、「地域日本語教室で活躍してみたい！」とご希望いただいた日本人の皆さんを対象に、日本語ボランティア養成講座を開催いたしました。

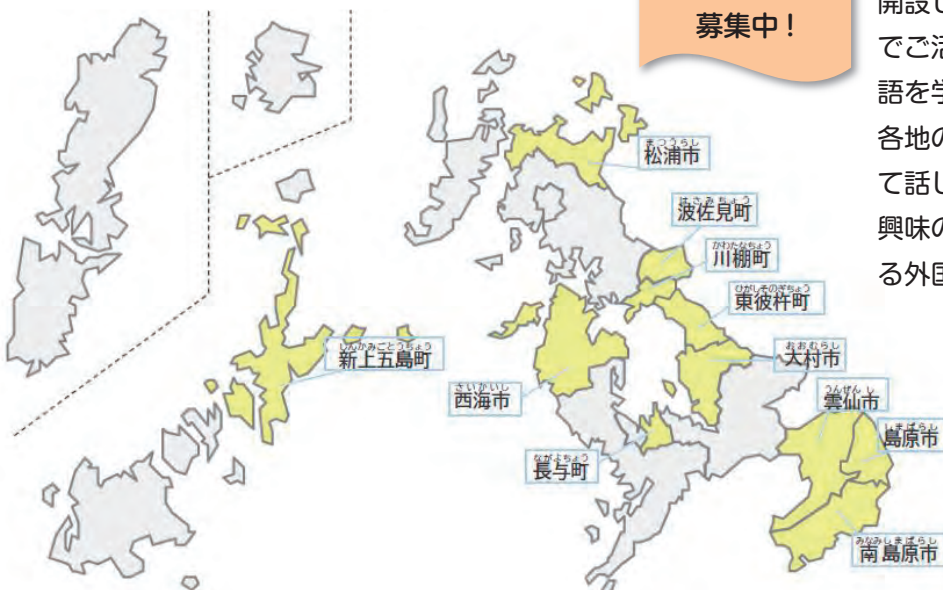
全5回の講座のうち、1回～3回目はオンラインで実施しました。「外国人住民の方と話をするにあたって大切にしたい視点」や「やさしい日本語」などについて講師の話聞き、参加者同士でディスカッションを行うなどして、知識を深めました。

4、5回は1回～3回のオンライン講座で学んだことを活かし、各市町に分かれ、実際に対面で外国人住民の方と話す交流会型の講座を実施しました。講座では「自分の好きなもの」や「出身地」をお互いに紹介し合いました。講座参加者は、外国人住民に対してやさしい日本語や身振り手振りを使って一所懸命に伝えたり、外国人住民もスマートフォンや知っている日本語を使って出身地の食べ物や観光地等を紹介していました。

今回の日本語ボランティア養成講座には、4地域合計で約60名の方にお申し込みいただき、対面の講座では延べ約90名の外国人住民の方にご参加いただきました。今後は、昨年度実施した5市町（島原市・大村市・南島原市・長与町・新上五島町）に続き、今年度実施した4地域でも養成講座参加者の皆さんを中心に、一つの居場所として、それぞれの地域に合った地域日本語教室の形を模索していく予定です。



本事業をもとに日本語教室を開設した市町



参加者随時募集中！

地域日本語教育推進事業をもとに、日本語教室を開設した市町（左の地図参照）では、日本語教室でご活躍いただく日本人ボランティアの方、日本語を学びたい外国人の方を随時募集しています！各地の教室では、グループで一つのテーマについて話したり、日本文化に触れる活動をしています。興味のある日本人の方や皆様の周りにいらっしゃる外国人の方にも、ぜひお知らせください！

（担当：長崎県国際交流協会 よしもち 吉用）

各地の地域日本語教室の活動については、インスタグラムで情報を発信しています！



NIHONGONAGASAKI

協会からのお知らせ

令和6年度助成金事業の申請団体を募集しています！

長崎県国際交流協会では、長崎県内の民間団体が行う多文化共生や国際交流等を支援するため、二つの助成金事業を実施しています。なお、助成金の申請期限は2024年3月15日（金）です。

ただし、予算の範囲内で必要と認める場合は、4月以降、随時追加募集を行います。助成金の詳細や追加募集の情報については、当協会公式HPよりご確認ください！

国際交流スタート支援事業

- 支援対象：国際交流事業等を初めて行う民間団体
- 支援概要：イベントや講座の企画・運営をサポートいたします。対象経費を100%補助（上限10万円）

草の根国際交流支援事業

- 支援対象：国際交流の経験がある民間団体、多文化共生に取り組みたい企業
- 助成概要：多文化共生事業については、対象経費を100%補助（上限10万円）、その他国際交流・国際理解事業については対象経費の1/2補助（上限10万円）

*本助成金事業の実施は、長崎県の令和6年度予算の成立が前提となります。

助成金の詳細については、
こちらのページから！



外国人お助けガイドブックを 是非ご活用ください！

当協会では県内在住の外国人の方に役立つ3つのガイドブックを作成し、無料配布しています。ご希望の方は、当協会までご連絡ください。全てのガイドブックは協会ホームページにも掲載しています。

■ながさき生活ガイドブック

長崎での生活の基本情報、在留資格に関すること、市役所・役場でできること、日本でのルールやマナーについて。

■病院に行く時につかう本

外国人の方が病院に行く時に必要な情報掲載。問診表もあり。



■知っておこう！災害が起こるその前に！

災害が起こってからでは遅い！

災害が起こるその前に！備えるための1冊。



各種ガイドブックは、
こちらのページに掲載しています！



外国人のための専門家による相談会

長崎県に住む外国人を対象に、在留資格、法律、仕事のことなどの専門家による相談会を行っています。毎月、第4土曜日に開催しますが、月によって異なりますので、日程については当協会のホームページ又はFacebookをご確認ください。在留資格等で困りの外国人の方がいらっしゃいましたら、ぜひ専門家による相談会についてご紹介ください。

●場所：長崎県外国人相談窓口

（長崎市出島町2-11 出島交流会館1階）

●相談料：無料

●電話番号：095-820-3377

●対応言語：英語、中国語、韓国語、ベトナム語、ネパール語、タイ語、インドネシア語、タガログ語など、多言語に対応します。

●相談は予約制ですが、当日、電話または直接お越しいただいても対応いたします。



～ 外国人支援事業を応援して下さる賛助会員を募集しています！～

賛助会員として長崎県の在住外国人を応援しています！

安達株式会社

扇精光ホールディングス株式会社

ヤナセ産業株式会社

長崎県青果移出商業協同組合

東興産業株式会社

年会費 個人会員：3,000円

法人会員：10,000円

※詳しくは、長崎県国際交流協会までお問合せください。